※令和３年度以前入学生用

学校番号	３０３６

令和５年度　英語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
英語	英語表現	2	第３学年	『入試必携　英作文』（数研出版） （※同一教材を用いA, B2ｺｰｽ展開）

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・英語表現の授業は、「書くこと」を中心に、「話すこと」、「聞くこと」、「読むこと」という４技能の力をつける授業です。自分の考えを正しい英語で表現できることを目指して、授業では積極的に活動に参加しましょう。

・英語の語彙や文法については、実際のコミュニケーションでどのように使われるか、ということを意識して学習することが大切です。常に「英語を使う」ということを意識して学習しましょう。また動詞と名詞、形容詞と名詞といった「コロケーション」も意識しましょう。

・音読は英語学習の中でとても大切な練習の一つです。英語のリズムやイントネーションに気をつけ、聞いている人にきちんと伝わるような音読を常に意識しましょう。

2 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第３学年】履修科目：「英語理解」（４単位）「英語表現」（２単位）「異文化理解（文系・２単位）」

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
◆身近なトピックに関してわずかな時間の準備で１分程度のスピーチができる。 ◆その際には具体的な理由を添えて、自分の意見を述べることができる。 ◆与えられたトピックについて簡単な理由を添えて即興で自分の考えを述べることが出来る。	英語理解 ・ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝ ・定期考査 異文化理解 ・ﾃﾞｨﾍﾞｰﾄ ・ｲﾝﾀﾋﾞｭｰ	◆複数の段落で序論・本論・結論を意識して、時間をかけた修正を経て、自分の意見をわかりやすく書くことができる。 ◆自分のよく知っているトピックに関して参考文献やインターネットなどから情報を収集し、それをまとめた文章を書くことができる。	英語表現 ・ｴｯｾｲﾗｲﾃｨﾝｸﾞ ・定期考査	◇はっきりと話されれば、身近なトピックについてのニュースの要点を聞きとることができる。 ◇自然な速さで話される観光地での説明やガイドなどのアナウンスなどを聞いて、大切なポイントを漏らさず、概要を把握することができる。	英語理解 ・ﾘｽﾆﾝｸﾞﾃｽﾄ ・定期考査 異文化理解 ・ﾘｽﾆﾝｸﾞ	◇まとまりのある英文を後戻りすることなく一定時間内に読み、各段落のトピック・サポート・例示・詳細などを押さえながら、全体の要旨を理解することができる。 ◇難しい部分を読み返すなどしながら、高度な内容について精読できる。	英語理解 ・音読テスト ・定期考査

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Unit1～6 (12 時間)	A : 文法・構文の再確認 B : 文法・構文の確認と表現の多様化	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		A は時制・主語/動詞・接続詞を、B は時制・文構造を意識しつつ、インプットとアウトプットを行う。	A は時制・主語/動詞・接続詞を、B は時制・文構造を意識しつつ、インプットとアウトプットを行う。	A は時制・主語/動詞・接続詞を、B は時制・文構造についての基本例文をアウトプットすることができる。	ペアワーク、音読の観察 ワークシート等の提出と確認
		「外国語表現の能力」			
		上記事項を意識しつつ表現する。	上記事項を用いた表現を正確にインプット・アウトプットする。	上記について基本例文を正確にアウトプット（筆記）することができる。	定期考査、小テスト エッセイ等提出
		「外国語理解の能力」			
		上記事項を意識しつつ構造を理解する。	上記事項を用いた表現の応用演習をおこなう。	上記事項について応用的な表現が理解できる。	黒板上で答案作成 エッセイ等提出
		「言語や文化についての知識・理解」			
		A は基本例文などを、B は例文やコラムを用いて、日英の表現の違いを理解する。	左記事項についてインプット・アウトプットしながら理解を深める。	当該表現を他の用例でも適切に用いることができる。	ペアワークや小テストで判断
Unit7～12 (14 時間)	A : 文法・構文の再確認 B : 達意の英文を書く工夫	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		A は関係詞・仮定法を、B は関係詞・仮定・動詞の語法を意識しつつ、インプットとアウトプットを行う。	A は関係詞・仮定法を、B は関係詞・仮定・動詞の語法を意識しつつ、インプットとアウトプットを行う。	A は関係詞・仮定法を、B は関係詞・仮定・動詞の語法についての基本例文をアウトプットすることができる。	ペアワーク、音読の観察 ワークシート等の提出と確認
		「外国語表現の能力」			
		上記事項を意識しつつ表現する。	上記事項を用いた表現を正確にインプット・アウトプットする。	上記について基本例文を正確にアウトプット（筆記）することができる。	定期考査、小テスト エッセイ等提出
		「外国語理解の能力」			
		上記事項を意識しつつ構造を理解する。	上記事項を用いた表現の応用演習をおこなう。	上記事項について応用的な表現が理解できる。	黒板上で答案作成 エッセイ等提出
		「言語や文化についての知識・理解」			
		A は基本例文などを、B は例文やコラムを用いて、日英の表現の違いを理解する。	左記事項についてインプット・アウトプットしながら理解を深める。	当該表現を他の用例でも適切に用いることができる。	ペアワークや小テストで判断

※令和３年度以前入学生用

Unit13～18 （ 18 時間）	A：文法・構文の応用 B：長大な英文を書く基本と表現の多様化	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		A は比較・譲歩を、B は比較・譲歩・it の用法などを意識しつつ、インプットとアウトプットを行う。	A は比較・譲歩を、B は比較・譲歩・it の用法などを意識しつつ、インプットとアウトプットを行う。	A は比較・譲歩を、B は比較・譲歩・it の用法などについての基本例文をアウトプットすることができる。	ペアワーク、音読の観察 ワークシート等の提出と確認
		「外国語表現の能力」			
		上記事項を意識しつつ表現する。	上記事項を用いた表現を正確にインプット・アウトプットする。	上記について基本例文を正確にアウトプット（筆記）することができる。	定期考査、小テスト エッセイ等提出
		「外国語理解の能力」			
		上記事項を意識しつつ構造を理解する。	上記事項を用いた表現の応用演習をおこなう。	上記事項について応用的な表現が理解できる。	黒板上で答案作成 エッセイ等提出
		「言語や文化についての知識・理解」			
		A は基本例文などを、B は例文やコラムを用いて、日英の表現の違いを理解する。	左記事項についてインプット・アウトプットしながら理解を深める。	当該表現を他の用例でも適切に用いることができる。	ペアワークや小テストで判断
入試問題研究	A：標準入試英作文の完成 B：長大で達意の英文を書く仕上げ	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		両コースとも自然でシンプルな英文をかけるように意識しつつ、インプットとアウトプットを行う。	自然な英文を書けるように意識しつつ、インプットとアウトプットを行う。	典型的な例文をアウトプットすることができる。	ペアワーク、音読の観察 ワークシート等の提出と確認
		「外国語表現の能力」			
		上記事項を意識しつつ表現する。	上記事項を意識しつつ正確かつ大量にインプット・アウトプットする。	上記について正確かつ大量にアウトプット（筆記）することができる。	定期考査、小テスト エッセイ等提出
		「外国語理解の能力」			
		上記事項を意識しつつ構造を理解する。	上記事項を意識しながら応用演習をおこなう。	上記事項について応用的な表現が理解できる。	黒板上で答案作成 エッセイ等提出
		「言語や文化についての知識・理解」			
		両コースとも例文やコラムを用いて、日英の表現の違いを理解する。	左記事項についてインプット・アウトプットしながら理解を深める。	主題を正しく把握した上で当該表現を適切に用いることができる。	黒板上で答案作成 ワークシート等の提出と確認